



山域：奥多摩 つづら岩

期間：2020年11月29日

メンバー：河本（L）、奥田、エミ（記）

河本さんの車で本厚木の待合せ場所まで行き、予定通り奥田さんを6時にピックアップした。三人で圏央道を八王子方面へと向かった。

ここしばらく暖かい日が続いていたが、この日は冷え込んでいて、車から降りると思わず「寒っ」と呟いてしまった。

バス停前の有料駐車場に車を停めて、道路を渡り林道へと入って行き林道の突き当りの登山道を登って行き、1時間30分ほどでつづら岩へ到着。

つづら岩は奥多摩の、御岳山から大岳山、馬頭刈山へつながる馬頭尾根の稜線上にある岩場だ。クライミングエリアはいくつかあるが、なかでも南面は一般ルート、左フェースルート、吊り上げルート等がある関東周辺のアルパインゲレンデとしては人気の岩場だ。

また、この岩場はチャート岩と呼ばれる堆積岩で非常に硬い岩質で、斜めに層が走っている様子だ。ホールドはチャートならではの細かいものが多いらしい。

仕度をして左フェースルートを登ることになり、9時30分河本さんのリードでクライミング開始する。下から見てみるとホールドも豊富に見えていたが、セカンドで私が登り始めると思いのほか難しいと感じた。

1P目は左上するクラックからボロハンク上のテラスまで登って行くのだが、取り付きの左クラックで、足を置いた石が動いた。そこから左上部へ登るのが一番難しかったように感じた。

豊富に見えたホールドもなぜが実際には細かく掴みづらくかった。



なんとか、テラスにつきほっと一息。

テラスには奥田さんも登ってきて三人が揃い、再び河本さんがリードで次のピッチを登り始める。2P目はいったん左上してから、再び右側をトラバースして立木にとった支点を直登するのだが、立木までのトラバースにかなり緊張して、心臓はドキドキで喉がからからになった。立木からほぼ垂直の壁を細かいホールドを探しながら登り、ようやく岩の頂上によじ登り終了した。



つづら岩の頂上はいくつかのしっかりとした支点があった。12時15分、ロープを2本連結して河本さん、奥田さん、私の順で40mを懸垂で降りて終了した。

続いてにオケラルートに登ろうとしたが、時間の関係で下山することにした。